

「先生も思わず納得に反省文の書き方教室」
掲載例文使用条件

① 「先生も思わず納得に反省文の書き方教室」(以下「本サイト」)の例文は、学校提出に限りその使用を認めます。

② 本サイトの例文を使用し、何らかの問題が発生しても、本サイトおよび管理人は一切の責任を負わないものとします。

③ 本サイトの例文を使用する場合、すべてにおいて使用者の自己責任で対応するものとします。

④ 本サイトおよび例文に関しては、苦情とうは一切受け付けません。

⑤ 何かしらの問題が発生する可能性がある場合、判断した場合、使用は控えてください。

⑥ 本サイトの例文を他サイトへ転載することは、理由のいかんを問わず厳禁とします。

⑦ 他サイトからの直リンクは一切禁止します。
以上

いるのに、どうして携帯を使う必要があるんだ」と言われました。「学校の友達とは限られた時間しか語り合うことはできないんだ。進学したり、就職したりしたら、どんなに仲のいい友達でも会うことが難しくなるんだ。学校にいる間は、携帯よりも、クラスメイトとのつきあいを大切にしたらどうだ」と、諭されました。両親からの話を聞き高校（中学校）という場所は、勉強に励むと同時に、友人と語らい、人間性を形成する大切な場であると、改めて思えるようになりました。携帯電話を校内に持ち込んで気がついたことがありません。それは、着信が気になり、授業に集中できなかつたという事です。また、休み時間に友達と話をするときも、着信があるかどうかにか気を取られてしまいませんでした。友人たちとの会話にも集中できないありさまでした。

学校にいる時間帯に、メールが入ることは

